



# राष्ट्रिय सांकेतिक भाषा दोभाषे संघ-नेपाल

ネパール手話通訳者協会 (NASLI-NEPAL)  
世界手話通訳者協会 (WASLI) 加盟の全国組織  
ネパール、カトマンズ

参照番号: 89



日付: 2024/09/28

全国手話通訳問題研究会 (日本) 会長  
渡辺正夫様

## 件名: WASLI アジア手話通訳者会議 2024 の報告書の提出

拝啓

ネパール手話通訳者協会 (NASLI-Nepal) を代表して、2024 年 8 月 15 日から 18 日までインドネシアのジョグジャカルタで開催された、WASLI アジア手話通訳者会議 2024 に出席する当会の通訳者に、300US ドルの財政支援を提供して下さったことに深く感謝いたします。皆様の寛大なご支援により、ネパールはアジア全域の手話通訳者が一堂に会するこの重要な場に代表者を派遣することができました。この会議で得た経験と洞察についてレポートを提出できることを嬉しく思います。

この会議は、知識の共有、プロとしての成長の促進、発展途上国の通訳者が直面する課題への対処のための素晴らしい機会となりました。私たちは、アジア全域、特に財源が限られているネパールのような国の通訳者に大きな利益をもたらす、全通研のこうした活動を支援する取り組みに深く感謝しております。

私たちはネパール手話通訳者の成長と能力開発の強化に努めており、今後も引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。全通研のような組織の継続的なご支援は、私たちの発展と地域の通訳サービスの向上にとって不可欠です。

改めまして、皆様の非常に重要なご支援に感謝するとともに、今後ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

敬具

*(Handwritten signature)*

副会長

サントシ・ギミレ

WASLI アジア手話通訳者会議 2024  
参加報告



2024年9月28日  
ネパール手話通訳者協会 (NASLI-NEPAL)  
ネパール、カトマンズ

## WASLI アジア手話通訳者会議 2024 参加報告

イベント名: WASLI アジア手話通訳者会議 2024

日付: 2024年8月15~18日

場所: サンティカ・プレミア・ホテル、インドネシア、ジョグジャカルタ



提出先:  
全通研  
日本



報告者:  
NASLI-Nepal  
ネパール

日付: 2024年9月28日

## 報告内容

### 目次

1. はじめに.....	3
2. イベント紹介.....	3
2.1 イベントについて.....	3
3. 集会の目的.....	3
4. イベントの概要.....	4
5. プラスの影響とメリット.....	9
6. WASLI アジア手話通訳者会議 2024 への参加から得られた主な教訓.....	10
7. WASLI アジア手話通訳者会議 2024 から学んだことと共有.....	11
8. 結論と謝辞.....	12
9. ネパールからの派遣代表者.....	12
10. 付録.....	13
10.1 参加者リスト.....	13
10.2 写真.....	14

## 1. はじめに

ネパール手話通訳者協会（NASLI-Nepal）は、ネパールにおける手話通訳の発展と推進に取り組む主要組織です。最高水準の通訳サービスを維持するために設立された NASLI-Nepal は、継続的な研修と権利擁護を通じて、会員の手話通訳者としての成長に取り組んでいます。当会は、ろうコミュニティと緊密に連携して、コミュニケーションが可能で効果的な状態であることを保障し、社会のあらゆる分野へのろう者の参加に対し大きな影響を与えています。NASLI-Nepal は、ろう者ときこえる人のコミュニティ間におけるコミュニケーションギャップを埋める上での手話通訳の重要性について認識を高めることにも取り組んでいます。その目的は、ろう者が教育、医療、司法など、さまざまな場面で質の高い通訳サービスを利用できるようにすることです。

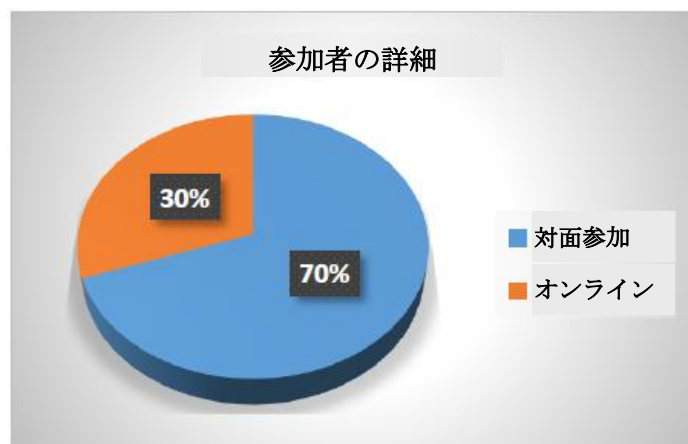
## 2. イベントの紹介

2024年8月15日から18日までインドネシア、ジョグジャカルタにあるサンティカ・プレミア・ホテルで開催された WASLI アジア手話通訳者会議には、アジア各国の手話通訳者が集まりました。このイベントにより、通訳者同士の議論が促進されただけでなく、WFD アジア地域事務局や WFD 青年部とのつながりが深まり、有意義なものとなりました。この会議は、ネットワーク構築、経験の共有、アジアの手話通訳の専門性強化に向けた戦略に対する協働について、貴重な場を提供しました。

### 2.1 イベントについて

8月15日～18日にインドネシアのジョグジャカルタで開催された WASLI アジア手話通訳者会議 2024 は、通訳者コミュニティにとって意義深いイベントであり、アジア全土の手話通訳者にとって極めて重要なものでした。この集会では、一連のワークショップ、討議、交流の場を通じて、通訳者のスキル、知識、専門的能力開発が強化されました。経験豊富な通訳者、指導者、関係者が一堂に会し、成功事例、革新的技術、良質な通訳に向けた協働戦略の共有が促進されました。

さらに、このイベントは、地域の課題を検討し、文化交流を促し、手話通訳者コミュニティを強化するための枠組みを提供しました。WASLI アジア手話通訳者会議への参加により、通訳サービスの質と利用しやすさが向上し、通訳者とアジアの幅広いろうコミュニティの双方にとって有益となることが期待されます。



### 3. 集会の目的

WASLI アジア手話通訳者会議 2024 の主な目的は、通訳者がさまざまなアジア諸国の通訳者たちと出会い、経験、言語、文化を共有する機会の提供でした。参加者は、すべての文化に対する寛容さと感謝の気持ちを持って、国際的な課題について学びました。今回のイベントには、アジア地域の手話通訳者 46 人が対面で、20 人が Zoom で参加しました。これらの会議を通じて、各国からの参加者とのネットワーク作り、知識と成功事例の共有、世界の状況を目の当たりにすることによるネパールの参加者のスキル・能力の向上という貴重な機会が得られました。イベント後、参加者たちは国際的なネットワークを構築し、革新的な取り組みについて共有して学び、個人および専門家としてのスキルを向上させ、ろう者と手話通訳者のコミュニティにおける文化的多様性と理解を促進することができました。

WASLI アジア手話通訳者会議の目的は以下の通りです。

1. ネットワーク作りと協働：アジア全域の手話通訳者がつながり、協力し、成功事例を共有するための枠組みを提供すること。
2. 専門能力開発：各国の通訳者の養成、認定制度、社会的地位に焦点を当てた講座を通じて、通訳者のスキルと知識を向上させること。
3. 戦略的計画／今後の方向性：持続可能な通訳者組織の構築に注目して、アジアの手話通訳の発展への課題について協議し、戦略を策定すること。
4. エンゲージメント：通訳者間の関係を育み、国際的な学びと協力を促進すること。

### 4. イベントの概要

**1 日目：2024 年 8 月 15 日**

到着と受付

参加者は会場に到着後、受付を済ませ、ホテルにチェックインした。

その後、参加者は D カウリランリゾートで開催された交流イベントに参加し、WASLI と WFD、WFDYS のそれぞれの代表団が顔の合わせをおこなった。このイベントでは、一般会員（OM）とユース会員（YOM）が交流し、通訳者と若者のコミュニティ意識を育んだ。



NASLI ネパール代表団

**2 日目：2024 年 8 月 16 日**

WASLI アジア地域代表の宮澤典子氏による歓迎の挨拶に続き、世界手話通訳者協会（WASLI）会長のクリストファー・ストーン氏によるビデオメッセージが上映され、本会議への歓迎の言葉が述べられました。

セッション 1:

WFD/WASLI 認定 IS 通訳者に関するディスカッションでは、ジュアン・カルロス・ドゥルエッタ氏 (ISAAB メンバー、アルゼンチン出身) が、世界ろう連盟(WFD)および世界手話通訳者協会(WASLI)の認定プロセスや通訳者としての経験談について、Zoom を介して話された。このセッションの進行は宮澤典子氏が務めた。



セッション 2:

フィリピン、韓国、日本からの発表による、手話通訳者のトレーニングと資格制度に関する情報共有。司会進行はルーシー・リム氏 (マレーシア)

ジョン・ザンドレ・バリザ氏 (フィリピン)  
ジョン氏は、フィリピンにおける手話通訳教育プログラムを開発し、フィリピン手話言語法 (2018 年) やカリキュラム開発について発表した。手話通訳者養成システムや、フィリピン手話言語法、通訳教育プログラムを完成させるための苦労話が語られた。



ヒョン・グオン氏（韓国）

韓国における手話通訳者の養成および認定制度とろう者通訳教育および認定制度の紹介があった。韓国がこれらの制度を開発・実施するために取った構造的なアプローチについて



韓国における手話通訳者の養成および認定制度について学んだ。とても厳しい訓練プログラムが確立されており、通訳者がろう者コミュニティのニーズに応えるためにどのように必要なスキルと知識を備えているかを知ることができた。ろう者通訳教育および認定制度については、ろう者が認定通訳者になるための能力をつけることに特に重点を置いており、他分野に精通した通訳の専門職を育成することができます。韓国のこの取り組みは、手話通訳サービスの強化を目指す他の国にとって、貴重なモデルとなった。

ホノベヤスコ氏 日本手話通訳士協会 (JASLI-Japan)

研修プログラム、手話通訳者認定資格、日本における通訳者の社会的地位について



研修プログラム、手話通訳者認定制度、日本における通訳者の社会的地位に関する発表では、日本における手話通訳者の幅広い研修制度と、高いプロ意識を維持するための指導方法について学んだ。ディスカッションでは、通訳者が現場に入る前に厳しい基準を満たすための認定試験があることを知りヒントを得た。さらに、日本における通訳者の社会的地位の向上についても学んだ。日本では、手話通訳者はろう者のコミュニケーションを円滑にする重要な役割として認識されつつあり、通訳者の職業的評価が高まり、社会のさまざまな分野に溶け込んでいるとのこと。

3日目：2024年8月17日

セッション3：通訳者組織の立ち上げに関する情報交換

ルーシー・リム氏（セラングールとクアラルンプールのろう者コミュニティ（JUPEBIM）通訳翻訳者協会会長）

レヌ・ラメシャン氏、インド手話通訳者協会会長。インド手話通訳者協会の設立と直面する課題  
フィテル・アングディカ氏、インドネシア手話通訳者協会（AJBI）事務局長。

このセッションでは、ディネシュ・シュレス  
タ氏（ネパール）の司会のもと、手話通訳者  
の加入促進、方針づくり、通訳者団体の立ち  
上げなどの課題について議論が交わされた。  
また、パネル・メンバーとの質疑応答も行わ  
れた。



リムさんは、マレーシアにおける通訳団体の  
設立について発表された。JUPEBIMの紹介、  
会員の基準、組織の目的と理念、JUPEBIM  
の事業と活動内容、課題などについて話された。

JUPEBIMの設立から、マレーシアにおける通訳者組織の設立の経緯について学んだ。JUPEBIMの  
入会基準については、通訳者が加盟するために必要な基準や資格があるとのことだった。また、  
JUPEBIMの目的と理念については、JUPEBIMはろう者の職業的地位の向上とろう者コミュニティ  
の支援に重点を置いているとのことだった。また、JUPEBIMの様々なプログラムや、専門職の育成  
とコミュニティへの参加するための取り組みについても議論した。JUPEBIMが直面する課題、例え  
ば資源不足や、より広いコミュニティへの認知度向上と支援の必要性についてとのことだった。

フィテル氏は、インドネシアにおける通訳者団体の発足について、その経験や課題を含めて発表し  
た。

インドネシア手話通訳者協会（AJBI）事務局長のフィテル・アングディカ氏の発表の後、インドネ  
シアで専門家集団を設立するための現在進行中の取り組みや、手話通訳に対する意識を全国的に高  
めるための課題について学んだ。AJBIは設立されたばかりの団体であり、その基盤を強化するた  
めに国際的な協力者から知識を得ようとされていた。発表では、インドネシアで効果的な手話通訳コ  
ミュニティを構築する上で直面する課題を克服するために、より大きな支援、資源、認知度が必要  
であることが強調された。

インド手話通訳者協会会長のレヌ博士から、インド手話通訳者協会設立の経緯と、インド手話通訳  
者協会が直面する大きな課題について学んだ。このセッションでは、手話通訳者という職業を認知  
してもらうためのハードル、標準化された養成と資格の必要性、政府・民間両セクターからの十分  
な資源と支援を得るための苦闘が浮き彫りになった。さらに、協会の組織強化とインドの手話通訳  
者の地位の向上のための努力についても見識を深めた。コミュニティ内でのアドボカシーと協力の  
重要性を強調した。

また、モニカ・プンジャビ・ヴェルマ ISLIA 会長は、ISLIA が作成した「インド手話通訳者倫理綱  
領 A to Z」を発表し、WASLI アジアの通訳者との経験を共有した。この倫理綱領は、インドの通訳  
者や依頼者、利害関係者の経験と背景のほとんどを考慮した詳細なものである。

## セッション4：進むべき道

アジアにおける手話通訳者の進むべき道についてのディスカッション。ジョン・ザンドル・バリザ氏（フィリピン）が司会を務めた。参加者は地域グループ（南アジア、東アジア、東南アジア、オンライン）に分かれ、手話通訳の課題を特定し WASLI アジアにおける活動を提案した。各グループが議論について発表した後、WASLI ASIA からの回答と閉会の挨拶が行われた。

本セッションでは、主にアジア地域における通訳サービスの今後の方向性について議論された。まず、WASLI アジア地域代表のアンソニー博士による WASLI アジアレポートの発表で始まり、主要な最新情報と見識が概説された。質疑応答の後、参加者は地域別に4つのグループに分かれた：

1. 南アジア
2. 東アジア
3. 東南アジア
4. オンライン・グループ（バーチャル参加者向け）



各グループは、司会者から出された様々な質問を中心に、緊急に取り組むべき地域特有の通訳課題やニーズなどについてディスカッションを行った。この共同的なディスカッションは、地域全体で緊急の優先事項や共通の関心事を特定するための基盤となる。セッションの最後には、各グループの発表が行われた。例えば、通訳者のカリキュラム、養成パッケージ、ライセンス、倫理、WASLIの行事の参加するための手が出ない登録料などが話題に上がり、また、経験や優れた実践を共有す

るために WASLI アジアの通訳者と頻繁に会うことが提案された。アジアにおける通訳の専門性を高めるための重要な収穫と次のステップを総括する閉会セッションで会議は締めくくられた。このような構成にすることで、レポートと、通訳の課題に取り組むためのグループディスカッションの両方に焦点を当てることができる。

#### 4 日目：2024 年 8 月 18 日

交流会が行われた。イベントの最後には、ジョグジャカルタの文化ツアーが行われ、クラトン宮殿やその他の地元の観光スポットを訪れ、リラックスした雰囲気の中、充実した会合を終えることができた。WFD、WFDYS、WASLI-ASIA の参加者のほとんどがこの交流会に参加した。

### 5. プラスの影響とメリット

WASLI アジア手話通訳者会議は、特にネパールからの参加者に大きな影響を与えた。このイベントは、国際的なネットワーキング、コラボレーション、アジア各国の通訳者間の優れた実践の共有を促進した。会議で得た知識と経験は、ネパールにおける通訳の専門性を促進し、進歩させる上で貴重なものとなるだろう。ネパールの代表団は、これらの見識をネパールの広範な通訳コミュニティと共有し、通訳仲間の専門的発展に貢献することを約束する。この会議はまた、アジアのリーダーたちと関係を築く絶好の機会でもあり、ネパールで実施可能な通訳の発展に関連する貴重なアイデアを持ち帰ることができた。

WASLI アジア手話通訳者会議に参加したことは、特にネパールのような発展途上国にとって、非常に良い影響を与えた。このイベントは、通訳の分野における新たな見識や技術を学ぶ貴重な機会となった。

ネパールの代表として、私は国際的なプラットフォームでセッションの司会をする絶好の機会を得た。この経験は私の自信につながっただけでなく、ネパールの手話通訳の進歩を世界の聴衆にアピールすることができた。

また、この会議は素晴らしいネットワーク作りの機会でもあり、アジア全域、そして世界各国から集まった専門家、組織、エキスパートとつながることができた。こうした新たなつながりは、今後の協力関係や、リソース、知識、優れた実践の共有に欠かせないものだ。

さらに、ネパールのような発展途上国の通訳者が直面する課題に対処するための革新的なアイデアや実践、解決策に触れることができ、専門家としての成長と発展を感じることができた。このような知識や経験の交流は、ネパールにおける通訳サービスの未来を形作る上で重要であり、私たちの意識を高め、包括性を促進し、通訳サービスの質を向上させる刺激となっています。

結論として、このイベントに参加したことで、私たちは自信を深め、ネットワークを強化し、通訳分野における差し迫った課題に対処するための新たなツールを得ることができ、これは我が国にとっ

て非常に有益な経験となった。

## 6. WASLI アジア手話通訳者会議 2024 への参加から得られた主な教訓

### 1. ネットワーキングとコラボレーションの強化

- ・ この会議は、アジア地域の通訳者がつながり協力するための場を提供した。これらのネットワークを構築することは、知識、優れた実践、およびアジアの手話通訳サービスを改善するための革新的な方法を共有するために重要である。
- ・ 各国の代表者は、アジアおよび国際的な協力体制やアジア全体での通訳の専門性の成長を促し支援し合う関係を築いた。

### 2. トレーニングおよび認証システム:

- ・ フィリピン、韓国、日本などの国々からのプレゼンテーションは、通訳者のための研修プログラムの構築や認証システムの重要性を強調していた。
- ・ これらのシステムについて学ぶことで、当該国の手話通訳者の厳格な基準の確立方法について理解することができ、これにより専門性を向上させ、確実に通訳者がろうコミュニティに対して十分に対処することが可能になる。

### 3. 通訳者組織の設立:

- ・ インド、マレーシア、インドネシアなどの国々から、通訳者組織の設立に関する様々な課題と成功事例が共有された。

### 4. 通訳者の発展のための働きかけ:

- ・ 手話通訳者の役割についての意識を高め、教育、医療、法的サービスなど様々な分野への参画促進の重要性が強く求められた。
- ・ フィリピン手話法のような立法努力について学ぶことで、ろうコミュニティに対する通訳サービスを改善することへの働きかけの向上が示された。

### 5. アジアにおける通訳の課題:

- ・ 地域グループでの議論により、通訳者が直面する主な課題として、正式な研修プログラムの欠如、イベントの登録料が高額すぎる、包括的なカリキュラムの必要性などが挙げられた。
- ・ 研修や認証のための地域内の骨組み作成や、知識と経験を共有するために WASLI アジア手話通訳者会議の開催頻度を増やすことなど、参加者はこれらの課題に対処するための効果的な活動や戦略を提案した。

### 6. 文化と言語の交流:

- ・ このイベントでは、アジアにおける言語の多様性、文化、および通訳方法の豊かさを強く打ち出した。異なる通訳環境を見聞することで、参加者はさまざまな通訳方法を理解し、豊かな経験を得ることができた。

### 7. 調整と進行およびリーダーシップの経験:

- ・ ネパールからの参加者はセッションの調整を担当し、リーダーシップの貴重な経験ができた。この経験はネパールの通訳分野での発展を表すと共に国際的な場で国を代表することへの自信につ

ながった。

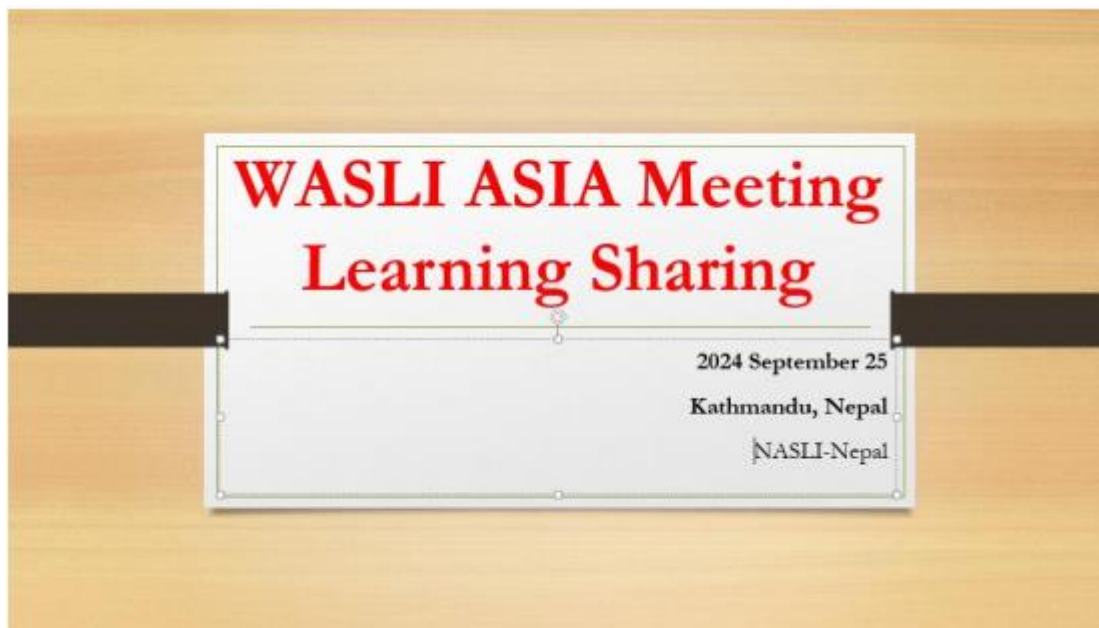
#### 8. 自信の向上と専門性の成長:

- ・ この会議への参加によって個人的、専門的な成長を促すことにより、参加者は自国での課題に対処するための新しいヒントを得ることができた。特にネパールのような発展途上国からの通訳者にとって、自信を高め、ここでの理解を自国の通訳サービスの改善につなげることができる。

WASLI アジア手話通訳者会議 2024 への参加は、知識やネットワーク、そして通訳の専門性を進展させ、アジアのろうコミュニティの平等性を促進するための戦略を参加者と共有する重要な学びの経験となった。

### 7. WASLI アジア手話通訳者会議 2024 から学んだことと共有

2024 年 9 月 25 日にネパールのカトマンズで開催された WASLI アジア手話通訳者会議 2024 学習共有プログラムは、ネパール手話通訳者協会 (NASLI-Nepal) のメンバーの積極的な参加により、成功裏に実施された。このイベントは、手話通訳分野における知識、経験、および最良の実践例を共有する貴重な場を通訳者に提供し、地域内でのさらなる協力と専門的成長を促進した。この会議は、通訳基準の改善の重要性を強く訴え、アジア全体で通訳者が直面する継続的な課題と好機を明らか



にした。

### 8. 結論と謝辞

WASLI アジア手話通訳者会議 2024 は、アジア全体の手話通訳者を結集し、協力、知識の共有、そして専門性成長を促進する素晴らしいイベントであった。討論、プレゼンテーション、グループ活

動は、アジアの手話通訳分野における現時点の課題と好機に関する貴重な考察の機会となった。ネパールにとって、この会議は我々の発展を示すと共に、他国の経験から学ぶ重要な機会となった。

全国手話通訳問題研究会（NRASLI）には、ネパール代表者 1 名の登録費用をサポートしていただき、心より感謝を申し上げます。この支援によって、私たちの参加とイベント成功のための貢献を確実なものにすることができ、重要な意味を持っていた。このような支援が将来的にも続くことを心から願っている。これは、アジア全域の通訳者の継続的な専門的発展のために非常に重要であると考える。

このような取り組みは、個々の通訳者に力を与えるだけでなく、より強力で統一された通訳者コミュニティを構築し、ろうコミュニティへのサービス基準を向上させ、包括性を促進することにも貢献することになる。

皆様の支援に改めて感謝し、アジアの手話通訳の成長と発展のために、今後も協働いただけることを期待しています。

## 9. ネパールの派遣代表者

1. サントシ・ギミレ - ネパール手話通訳者協会 副会長
2. ディネシュ・シュレスタ - ネパール手話通訳者協会 アドバイザー
3. プラカシュ・マハルジャン - ネパール手話通訳者協会 事務局長



WASLI アジア地域代表と 3 名のネパール手話通訳者協会代表者

## 10. 付録

### 10.1 参加者リスト

参加者の氏名と国名（オンサイト、オンライン共）

参加者詳細

SN	Country	In-Person	Remarks
1	Vietnam	1	
2	Malaysia	9	
3	Philippines	4	
4	Indonesia	11	
5	Singapore	3	
6	Thailand	2	
7	Taiwan	1	
8	China	1	
9	Hong Kong	1	
10	Japan	2	
11	Korea	1	
12	Macau	2	
13	Nepal	3	
14	India	4	
15	Sri Lanka	1	
<b>Total</b>		<b>46</b>	
1	Deaf Interpreter	10	
2	Hearing Interpreter	36	

オンライン参加者

SN	Country	Online	Remarks
1	Japan	5	
2	Indonesia	5	
3	Singapore	2	
4	Malaysia	7	
5	India	1	
<b>Total</b>		<b>20</b>	
1	Deaf Interpreter	5	
2	Hearing Interpreter	15	

## 10.2 写真



WASLI アジア手話通訳者会議参加者



閉会式出席の WFD、WFDYS、WASLI アジアネパール代表者



ネパール代表ディネシュ・シュレスタが WASLI アジア会議の第 3 セッションの司会中



会議プログラム中の学びの様子など

**"WASLI ASIA Interpreters Meeting 2024"**  
**EXPERIENCE SHARING PROGRAM**  
(सिकाई अनुभव साझेदारी कार्यक्रम)

स्थान: पेन्सन वासना होटल, डिल्लीबजार, काठमाडौं।  
(Venue: Pension Vasana Hotel, Dillibazar, Kathmandu)  
मिति: २०८१ असोज ९ गते (25<sup>th</sup> September, 2024)

**आयोजक (Organizer)**



राष्ट्रिय श्रोतारोहण अन्वेषण संस्था  
NATIONAL ASSOCIATION OF THE DEAF (NASLI) NEPAL





\*Thank You! धन्यवाद ! ありがとう\*